

「業務再開」という名の「再建」策動粉碎

日刊 動労千葉

80.7.12
No.480

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）三三八・九（公衆）四三三・七二〇七

追いつめられた「本部」と裏切り・スパイ分子を追撃せよ！

「本部」反動分子と一部スパイ・裏切り分子による六・二八・七・五の二回にわたる「再建津田沼支部」再建地本結成」策動は、動労千葉の大衆的決起の前に完全に破産した。

六月二五日付「再建」マ情報（No.29）は「目黒選の勝利を確認し千葉再建に向け立ちあがる」となどと空疎に叫び、七月五日には千名動員で「本部」ハ鉄委員長がきて再建津田沼支部結成大会を行う」と豪語したまでにはよいが、その言動とはうらはらに、動労千葉の決起の前に津田沼電車区に一步も近よれず、「虎の子」の革マル・スパイ分子嶋田誠、裏切り分子斉藤（吉）らと短期転勤者グループが消耗し切つてしまひ、結局は大破綻したのである。

この「再建」策動の決定的とも言える大破産・大失敗をインペイするものとして新たに策動されているのが、当局と結託した「今まで停止していた業務をこれから再開する」と称する苦しまぎれのペテン路線である。かかる策動は、追いつめられた「本部」反動分子が、裏切り者、士屋粹らをテコにサギ的に佐倉や津田沼に動労千葉解体のための「出先共闘」をテッ千上げようとするものである以外のなにものでもない。

全組合員の総力をあげて、かかるペテン路線は粉碎するのみである。

「業務再開」路線の反動性とペテン性

裏切り分子、士屋粹は、「動労千葉に敵対、対立はしない」といつつ、「最初から俺は動労組合員であり、とり残された者で業務を再開するだけで、「本部」とはちがう」とウソをついている。

これはまやかしかである。土屋は「本部」と言っただけで、たんに組合員の気もちが離れてしまふことを知りつくしているが故に、そして「本部」と言っただけで、四・二七津田沼武装襲撃、四・二一新小岩支部襲撃、四・二五ト破り襲撃と処分要請タレコミ路線等々の「本部」の悪業の教々の責任を追及されなければならないということを承知しているが故に「本部」ではない

「業務再開」路線を粉碎せよ！

「業務再開」のための「組織」は、「本部」反動分子や士屋粹らがいくらキレイゴトを云おうとも動労千葉の叩きを妨害し「本部」反動分子の「四・一七」「四・一五」型の暴力的組織破壊を導入するための御用組織であることは必定である。

それ故に「業務再開」なるペテン的、反動的路線は動労千葉と絶対にあいられないものであり、どちらが組織として生き残るのか文字通りマル生闘争以上の死活をかけた叩きをわれわれに要求しているのである。

全組合員のみなさん！

「業務再開」路線粉碎・津田沼特別班解体・士屋粹一派糾弾の叩きを、六・二八・七・五の勝利を基礎に総力をあげて叩きぬこう。